

令和元年度 第2回安城市図書館協議会会議録

日 時	令和元年11月6日(水)午後4時30分	
場 所	アンフォーレ3階健康支援室・講座室	
議 題	(1) 安城市図書館運営基本計画について ア パブリックコメント案について イ 今後のスケジュールについて	
資 料	1 安城市図書館運営基本計画(案)本編及び概要版 2 令和元年度図書館施設利用者満足度アンケート集計及び分析 3 安城市図書館運営基本計画策定スケジュールについて	
出席者	塚原 和江	会長
	井上 和夫	委員
	加藤 りせ子	委員
	浮森 和美	委員
	早川 一雄	委員
	山下 由美江	委員
欠席者	岡部 晋典	副会長
	杉山 春記	教育長
事務局	神谷 浩平	市民生活部長
	岡田 知之	アンフォーレ課長兼図書館長
	神谷 美恵子	課長補佐
	田中 俊介	図書館情報係長
	稲垣 正典	図書館サービス係長
傍聴者	なし	
閉 会	午後5時15分	

課長補佐：それでは只今から令和元年度第2回安城市図書館協議会を開催致します。最初に、市民憲章唱和を行います。

＜市民憲章唱和＞

それでは市民生活部長よりご挨拶申し上げます。

市民生活部長：市民生活部長神谷でございます。

本日はありがとうございます。よろしくお願ひ致します。本来ならば、教育長が出席してご挨拶申し上げるところでございますが、本日急に所用ができません、欠席させていただきますのでご了承いただきますようお願いいたします。

さて、3年目を迎えたアンフォーレにつきましては、先月26日、土曜日、入館数300万人を突破しました。1日平均3,600人を上回るペースであります。

ちなみに、300万人目の人は、豊田市からご家族6人で来館されました3歳の男の子で、市長よりささやかな記念品を差し上げました。

また、図書館情報館の入館者数が、その1週間前、10月18日に200万人に達しております。これも1日平均2,800人を超えるペースでして、順調に推移しているかなと思います。

今後とも図書館サービスの充実に努めまして、入館者数の増加につなげたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願ひします。

本日の図書館協議会議題につきましては、ご案内の通り、皆様からのご意見をいただいて取りまとめました、図書館運営基本計画の内容についてご審議いただくことにしております。パブリックコメントに向けて皆様の活発なご意見をいただきたいと思ひます。

簡単ではありますがご挨拶といたします。よろしくお願ひ致します。

課長補佐：それでは議題に移りますので、塚原会長より取り回しをお願ひします。

会長：では議題に移らせていただきます。「議題（1）安城市図書館運営基本計画について」の「ア パブリックコメント案について」、皆さんに前もって読んでいただいたところですが、事務局から説明をお願ひします。

図書館情報館長：今日お配りしたものが最新になりますので、それに基づきまして、説明させていただきます。

＜資料1により議題（1）アを図書館情報館長説明＞

図書館サービス係長：次に、計画案の中でも取り上げております、図書館の利用者満足度アンケートについてご説明します。

＜資料2により図書館サービス係長説明＞

会長：ありがとうございます。ここまでの説明で何かご質問がありま

したら。

A 委員：満足度が上がっている、いろいろな理由があると思いますが、こういうことが満足度の向上につながっているということが、もしあれば。

図書館情報館長：アンケート項目1から13は、ここ4年間、設問は変えておりません。相対的に最後の13が、図書館サービス全体の満足度で、この4年間で上がっていますし、全体の平均点も実は少しずつ上がっています。

どこに満足されたかということ、1番から13番の間で、どれが上がっているかという部分を見ていただくと、例えば去年と比べてアップしているのは、13項目中11項目です。

7番と9番は若干下がっていて、誤差の範囲内かもしれませんが、7番の蔵書や閲覧席の数と9番の料金設定です。2番の駐車場・駐輪場と、11番の休館日は、全体から見ても満足度が低いということですが、特に駐車場については、今からどうこうすることはなかなか難しい部分ですので、例えば、誘導員をできるだけ沢山配置するなどの方策を考えているのですが、構造的に、駐車場を広くするなどは今この段階でできないことですので、そんなに点数が上がりませんが、何とかしないとけない課題にはなっております。

11番の休館日については、火曜休館というより、第4金曜日の月1回のお休みが分かりにくいという評価をされてる部分かと思えます。

図書館情報係長：先程の、どの要素が満足度を上げているかという点で。

第4金曜日の休館日が分かりにくい。その代わりに、そこで研修をやって、職員の接客態度や説明の分かりやすさ、そちらのレベルアップのために第4金曜日を費やしているの、どうすればよいか、正直悩ましくあります。

図書館情報館長：実は、13番を除いた12項目は、他の施設でも同じ設問で評価をしてもらってまして、他の施設と比べてこの満足度で、4番の接客態度と5番の説明の分かりやすさは、図書館の職員評価は、平均点よりとても高いのは間違いありません。

会長：いかがでしょうか、ご理解いただけましたでしょうか、

C 委員：自由記入欄のようなところはあったのでしょうか。何か気にな

るご意見は。

図書情報館長：ざっくり申し上げますと、ジャンル別排架という形で日本十進分類順に並んでいないのが分かりにくいという方が結構いました。それは慣れれば何とかかなると思うのですが、駐車場に関しては、自由意見で一番多かったのですが、抜本的な改善ができる部分ではありませんので、やれることはやっていきますというお答えしかできません。

図書情報係長：あとは、真逆の意見が多かったです。飲食ができるのが良いと評価してくれる人と、飲食禁止にしてくれとおっしゃる方と。

C委員：そうなんです、全館飲食可ではないですか。全館やかましい。どこか一区画だけでも静かで飲食もなくてとにかく雑音に影響されずに集中できるような部屋があったらいいなと私も思うのですが。

図書情報館長：奥の方はサイレント空間を用意してあるので、気になる方は奥へどうぞという形で、これからもやっていきたいとは思っております。そういうご意見は理解しておりますが、なかなか今の構造では。試験週間では、今でもお叱りを受けますが、先程サードプレイスという言い方をしましたが、図書館が皆さんに気軽に来ていただいて、全ての方に満足していただくのが一番良いですが、大多数の人が満足していただく運用というのは、改善できることは改善していきますが、今の形がまずまずベターと思っております。

今いただいたご意見のような、しっかりとした静かな空間を確保してほしいというのも、まだ検討する余地はあるとは思いますが。

図書情報係長：岐阜市など、最近できた新しい図書館も、同じような悩みを抱えているようです。構造的に壁で仕切るとか、設計段階からそうならなければいいのですが、アンフォーレの場合、空間をつなげて賑いを伝えようというコンセプトで作ってあるので。

C委員：壁を、音が反射しないようにするなどにはできませんか。建物に壁を作るとか、部屋を作るとかできないとおっしゃるのであれば、そういう工夫を何かできないのかと思いたしますが。

図書情報館長：そのように構造を変えることができないのが、今のPFIの制約です。15年間は民間に維持管理をしてもらい、手を加えることすらできないのが今の状態です。今からやれる範囲内で、そういうご意

見を解決できるものがあれば、やっていきたいと思いますので、構造的に手を加えたり変えたりはできないという前提でご理解いただきたい。どちらにしても、静かな図書館という図書館ではなく、どちらかと言うとアメリカや北欧のように、今の図書館の全体の流れとしてそういうものがあるということをご理解いただいて、図書館の最先端をアンフォーレは目指していますという言い方になってしまいます。

そんなものは図書館ではないという言い方をされる方も沢山いることは承知していますが、静かな空間を求める方に対して、何がやれるかということは、ご意見として無視するのではなく、一緒に解決策を考えていきたいと思っております。

C委員：期待しております。

会長：他に何かご質問はありませんか。

他の方から聞いた意見ですが、思った程うるさくなかったと。他市の方で、うるさいのではないかというイメージで来ると、そうでもなかった、というご意見もあるのですね。アンフォーレは、静かでなければならない図書館ではないというイメージで来て、奥の方に入ってしまうとそうでもない、そのように聞いています。

図書館情報館長：今日の午前中も沖縄から議員さんの視察がみえて、うちは会話も飲食も原則容認する図書館なんですよとお話したところ、沖縄の図書館は、同じようにリニューアルしている図書館ですが、中に入ったら子どもも静かにしていないといけない図書館だそうです。

以前の中央図書館だと、なかなか子ども連れで来づらかったお父さんお母さんも、今では気兼ねなく来られるようになったのが、会話飲食を可にした図書館の効果のひとつではないかと思っております。

課長補佐：2階のフロアで見た光景ですが、ご高齢のご夫婦だと思えますが、おじいちゃんが目が悪く、隣でおばあちゃんがラグビーの記事が載った雑誌を読み聞かせしていたんです。人間の声を全面禁止にしたなら、それはできないけれども、アンフォーレで、こういう環境の中であればそういうことも気にせずのできるのです、このような運用は、プラスに考えれば、そういう利用の仕方もあると、長い間そこで雑誌を読んでいたのです、アンフォーレを作って良かったなど。

E委員：静かに、というのは、大人から出る要求だと思うんです。子ど

もからすると、ここに来たら絶対に喋ってはいけない、静かにしていなければいけないという、図書館からは足が遠のくと思うんです。間口を狭めることになる。

図書館情報館長：一部だけでもサイレントをしっかりと確保してほしいという、それはまだ課題だと認識しております。構造を変えられないという大きなネックがありますので、良いお知恵をいただけたらと思います。

会長：他のご意見はありますか。

D委員：アンケートの中の項目2の施設職員、許容範囲ではないかと思えます。人が変わってくるし、少しくらいダウンしても、そんなに心配する必要はないと思えます。

問題は、平均が3点台が続いているものについて、それをどうするか。やれないことは仕方のないことだと思っております。全ての人の要求を聞くわけにはいかないのです、妥当なところで我慢してもらうことは当然だと思えます。

可能なら、これが上がるような形を、すぐではなくても今後の見通しとして考えて、具体的に何かということは掴んでみえるようですから、後はどうしていくか、いかないのか、その辺をはっきりさせながら方向付けをしていくことが大事かと思えます。

4番、5番、これは、私は5点満点を付けたいと思えます。今日も寄ったのですが、本当に親切に丁寧に教えてもらい、私が見落とししたところも、係の方が読んでここではないですかと言っていて、嬉しく思ったのですが、そういう点は徹底しているなど思っています。これがアンフォーレになってありがたい面だと思えます。

余談になりますが、この前は廣村さんが講演してくれたし、今度は稲垣えみ子さんが、世の中に対して自分の一人の楽しい悲しい嬉しいでなくて、社会というものを、ちょっとみつめ直すというような講演、本当に良い講演を選ばれるなど。

課長補佐：あとは3月に、茂木健一郎という脳科学者を予定しております。図書館のヘビーユーザーで、図書館についての思いは沢山持っている方です。

D委員：利用価値がだんだん出てきましたね。

会長：ありがとうございます。後はございませんか。

私の質問で、計画本編の21ページから22ページ、ボランティアとの協働は、この協働でよかったか。共に働くだからこれでいいのか。

課長補佐：市民協働課の協働はこれです。

図書情報係長：共に手を取り合ってやっていきましょう、という場合は、これで正しいはずです。

会長：他にご質問はありませんか。見るたびにとても良くなっているの
で、私は嬉しいと思います。

図書情報館長：ご意見いただいたものはできるだけ反映して、今日のもの
にしております。では、スケジュールを説明させていただいて、全
体で、また最後に質問とさせていただきたいと思います。

図書情報係長：それでは、お手元にお配りしたスケジュール表で、今後
の流れをご説明します。

＜資料3により議題（1）イを図書情報係長説明＞

図書情報館長：お手元にお配りした本編も、概要版も、パブリックコメ
ントにかけるまでに若干時間はございますので、11月中にご意見を
事務局にいただければ反映して、パブリックコメントの案にしていき
たいと思います。

会長：ひとつ心配なのは、館長さんも交代されてしまうように、今まで
やってきた方が代わってしまわないような方策がないのかなと。

図書情報館長：そのために、計画をしっかりとものにして、後を引き
継ぎたいということです。

課長補佐：計画を作るのに10回以上の打ち合わせをして、文言の1つひ
とつまで検証しながら案を作ってきました。その過程で、今いる若い司
書たちも、方向性や今後のことを真剣に考えるきっかけになって、それ
が副産物となって、計画のそのものは成果物ですが、手作りにしてよか
ったとっております。

図書情報館長：今日ご説明した4つの基本方針と21の重点施策は、若
い司書たちが、皆で意見を出し合って練りに練ったもののご理解くだ
さい。その点で、これから10年先、20年先も大丈夫だと思ってお
ります。

会長：では宜しいですか。何かございませんか。

図書情報館長：その他で2点程ご連絡させていただきます。

今日お配りしました、明日の県の子ども読書活動推進大会で、塚原会長さんが事例報告をされます。今年度の子ども読書活動優秀実践団体ということで文部科学大臣表彰をいただきまして、その活動を愛知県の代表として、この大会で塚原さんに話していただくということですので、ご承知置きください。

会長：10分間の発表で、その後85分間の質疑応答ですが、頑張ってます。いろいろ図書館のおかげでやらせていただいて、安城がこんなに住民、サークル、公民館を使うなどしてサービスが繋がって、その1つの担い手になったかなと自負しております。それを報告させていただきます。

図書館情報館長：もう1つ、文部科学省が昨年10月から組織が変更されました。従来、公共図書館、子どもの読書の推進、学校図書館、部署がバラバラでしたが、これが1本にまとまって、新たに、総合教育政策局地域地域学習推進課図書館推進係ができました。

安城市の図書館情報館、学校図書館との連携の取り組みに関心を持っていただいて、10月30日に図書館振興室長が視察に来てくださいました。そのときに、本当に街づくりを意識したとても良い図書館だということで、先進事例として、文部科学省としても情報発信をし、総合教育政策局長や地域学習推進課長も、時間ができたら、ぜひおじゃましたいというお話をいただきました。とても名誉なことで、せっかくなのでご報告をさせていただきます。

会長：以上でよろしいでしょうか。では閉会の言葉をお願いします。

市民生活部長：皆様から様々なご意見をいただきまして、ありがとうございました。反映できるものは反映していきたいですが、時間もないということで、今後計画が順調に進むことを祈ってきたいと思います。どうも有難うございました。

<午後5時15分閉会>